

## 働き方改革部門

熊本県菊池市 セブンフーズ株式会社

(代表取締役：前田 まえだ 佳良子 かよこ 氏)



- 経営規模：養豚26,636頭（母豚2,111頭、種豚24頭、育成豚525頭、子豚13,338頭、肥育豚10,638頭）、キャベツ14.0ha

(注) 数字は令和3年のもの

## 経営展開のポイント

- ・ 先代から養豚業を継承し、平成4年に法人化。平成19年に農場の増設・飼養頭数の拡大を図り、現在の年間出荷頭数は約5万頭に達する。
- ・ 経営理念の1つに「全社員の物心両面の幸福を追求する」ことを掲げ、長期的に働ける労働環境の整備に取り組む。
- ・ 各農場での仕事のやり方を見直すことによる完全週休二日制の実施、長期休暇予定を「マイウィーク」として事前に設定することによる有給休暇の取得促進、従業員からの要望に応じた様々なタイプの時短勤務制度の導入などを通じ、柔軟な働き方を実現。
- ・ 人材育成について、一般社員、班長、主任、農場長といった階層的な組織体系を整備し、役職手当の充実やそれぞれの責任体制の明確化を図った上で、従業員と10年先のキャリアプランを話し合いつつ、希望に応じた人事配置を行うなど、キャリアパスを整備。
- ・ 従業員との情報共有について、改めて全従業員と秘密保持に関する契約を結んだ上で、通常は幹部のみで共有している経営データや幹部会の議事録等も共有可能にすることで、従業員間の情報の格差を無くし、経営課題のスピーディーな改善を実現。
- ・ こうした取組を通じ、従業員にとって働きやすい条件整備を包括的に進めながら、法人の成長・生産性向上が図られている。